



interview

ながたに
チャーリー永谷さん (78)

◎ Profile

熊本市在住の歌手でカントリーミュージックの第一人者。1989年から南阿蘇村の巨大野外ステージ「アスペクタ」で国内最大のカントリーミュージックの祭典「カントリーゴールド」を主催。

20歳の誕生日に仲間が演奏してくれたカントリーミュージックがきっかけでした。演奏を聞いた瞬間、私は大きな衝撃を受けました。「この音楽がしたい」。その思いだけで大学を辞め、カントリー歌手の道を選びました。

カントリーゴールドは今回で26年目になりました。このイベントにはリピーターがたくさんいます。毎年ファンと元気会えることを喜び合い、最後には来年の再会を約束して別れま

す。私にとっては出会いが一番。人のふれあいでつながりを広げることが、音楽と同じくらい楽しみです。

参加者には「カントリーゴールドは、年に一度遠く離れた家族が集まる日になつていて」と言つてくれる人もいますし、北海道から車でイベントに参加してくれる人もいます。たくさんの人々にイベントの継続を願つてもらつていてありがたいですね。

イベントを続けていくために

私はカントリーゴールド30回目の開催を目指して頑張っています。音楽でたくさんの人とつながりができました。人生の早い時期からカントリーミュージックに出会えて本当に良かったです。これからも、音楽で人のつながりを広げていきたい

私の
生きがい

元気は音楽と人から

—ファンに聞く— 私の『生きがい』

カントリーミュージックが大好きです。カントリーミュージックでは、知らない人でもすぐ友だちになれます。音楽を通して人と関わることができるから健康でいられるのだと思います。



河内 信行さん (71・栄温泉郷)

音楽を聞き、踊ることが私の生きがいです。老人ホームなどで踊りを披露しています。皆さんに喜んでくれることがうれしいです。何でもいいので、年をとっても趣味を持つことは大切です。



川嶋 捷功さん (74・若原)

いつまでも元気でいるために自分の能力を高めたい。だから喜んでほしい。つながりを作りたい。どんな目的からも生きがいを見つけることができます。新しく生きがいを見つけるだけでなく、自分の知識や技術を地域や人に伝えることも生きがいです。

大切なのは一生懸命なること。生きがいを持つことであなたはもっと輝きます。あなたの「いきいき」は家族や地域の人にも伝わり、みんなを「いきいき」させます。生きがいはみんなを笑顔にする魔法です。

**あなたの魔法は
誰を笑顔にしますか?**

“笑顔”的魔法

「退職して良かったと思えたのは1ヶ月だけ」。こんな声を聞いたことはありませんか。長年続けてきた仕事を引退したあと、日常に物足りなさを感じる人も少なくありません。老後の暮らしを充実させるために自分の『生きがい』について考えてみませんか。



●熊本県内の65歳以上の人口と割合
(出典: 熊本県推計人口調査)



熊本は長寿の県です。高齢者の孤独死や介護負担の増加は私たちにとっても深刻な問題です。高齢社会を支える人の環境づくりも大切ですが、高齢者自身が元気に暮らすこと有必要です。高齢者が元気に暮らるために必要なこと、それは「生きがい」です。

熊本県の高齢化率は27・2%（平成25年度調べ）。全国平均の24%を超えてます。県の平均寿命と100歳以上の人々の割合はどちらも全国10位内。まさに進む県内の高齢化

健康寿命を延ばす
「生きがい」

熊本学園大学社会福祉学部
和田 要 学部長 (62)



日本では、医療や食べ物が充実してきたことで平均寿命が延び、高齢化が進んでいます。熊本県も同じ状況です。高齢化社会を乗り切るためには、平均寿命だけでなく、高齢者が元気に日常生活を送れる健康寿命を延ばすことが大切です。「生きがい」には健康寿命を延ばす効果があります。高齢者が健康に暮らすこと、本人の認知症や要介護状態になることを未然に防ぐことはもちろん、介護をする人の負担も減らすことができます。